

環境に配慮した消費生活に関するアンケート結果レポート

東京都消費者月間実行委員会では「環境に配慮して「消費生活」を提案したいと考えています。毎日の暮らしの中で、チョットとした気配りや小さな努力の積み重ねが、環境の保全に役立つのではないのでしょうか。暮らしの中では、商品やサービスを「買う」「使う」「捨てる」といった消費行動があります。今回はそのなかで「商品を選んで買う」行動についてアンケート調査をいたしました。

実施期間	2006年8月1日～8月31日
実施方法	一般都民を対象に紙及びインターネット
回収枚数	608票

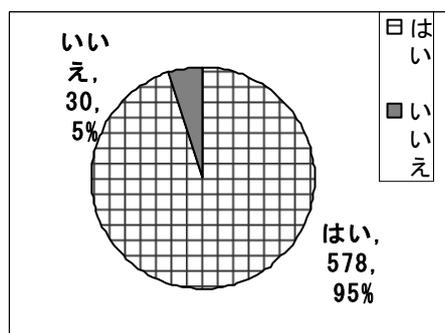
全体の設問に関して、「はい」と回答した人の割合が多くあり、こうした行動を行うことが結果的に環境に配慮した消費行動につながっていることとなります。

今回は設問に対して、特に「いいえ」と回答した人の割合と、その理由について考えてみることにしました。

I 日常のお買い物で、次のような商品を選ぶ時、あなたはどうしますか？

「いいえ」とお答えの方はその理由もお選びください。

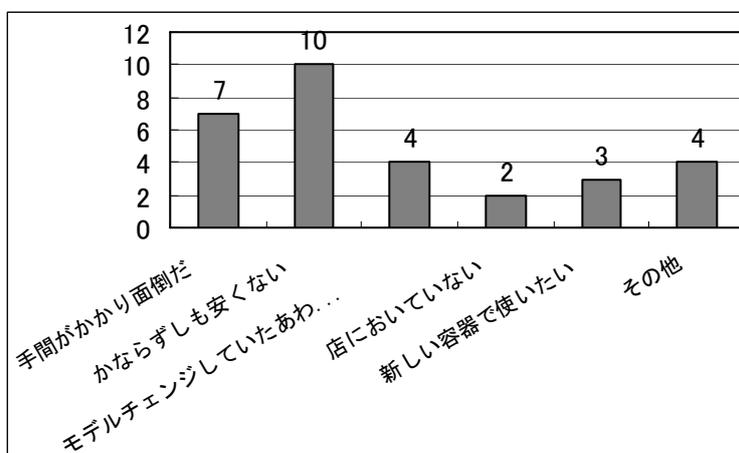
1. 詰め替え用のある商品が販売されていますが、あなたはそういう商品を購入するようになっていますか？



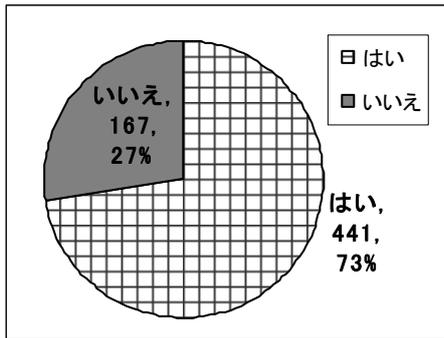
設問1～5の中で最も「いいえ」と答えた人の割合が低く、これは「詰め替え商品」の種類も増え、なじみやすくなってきていることがうかがえます。

そこであえて「いいえ」と回答した5%の人の理由を見ると、「必ずしも安くない」が1番多く、次に「手間がかかり面倒だ」という回答だった。使い勝手の良い詰め替え品の開発をお願いしたい。

「いいえ」の理由

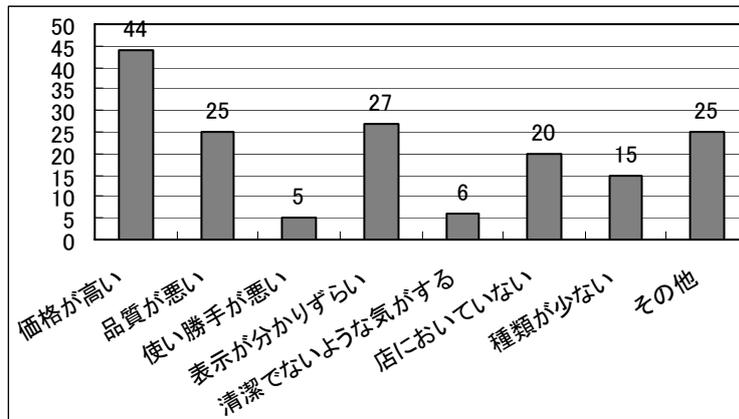


2. 再生紙のトイレットペーパーやティッシュペーパー、文具など商品が販売されていますが、あなたは積極的に再生紙の商品を購入しますか？

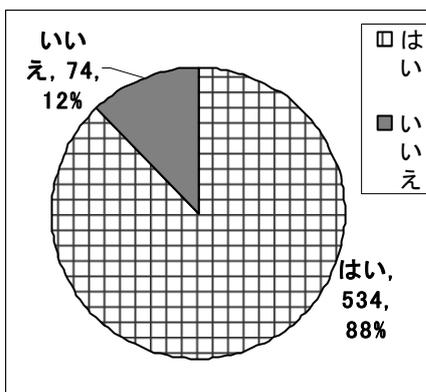


27%の人が「いいえ」と答えています。ここでも価格が問題となっていますが、特にトイレットペーパーは日常的に多く使うものなので、価格には敏感にならざるを得ません。それに続いて「表示が分かりづらい」「品質が悪い」「店に置いていない」となっています。再生紙のものを置いていない店やそれ自体が少ないのかも知れませんが、その理由も知りたいものです。

「いいえ」の理由

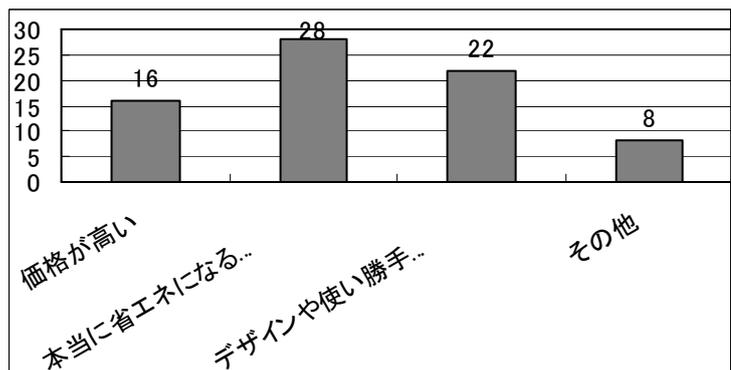


3. 省エネ型の電化製品が、いろいろ作られています。買い替えに時には、省エネ型にしようと思いますか？

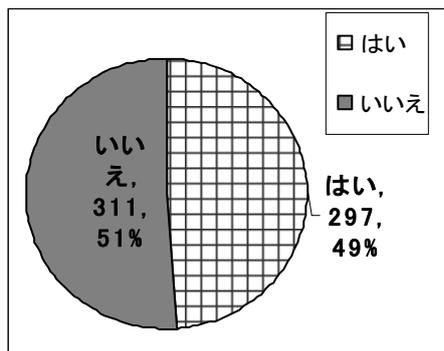


12%の人が「いいえ」を選んでいますが、理由で最も多数を占めたのは「省エネかどうか疑わしい」という項目でした。これは最近、冷蔵庫の省エネに関する消費電力の測定方法が実情と即していないという報道があったことが関係していると考えられます。また、消費者はデザインや色、使い勝手も重視しているようです。

「いいえ」の理由

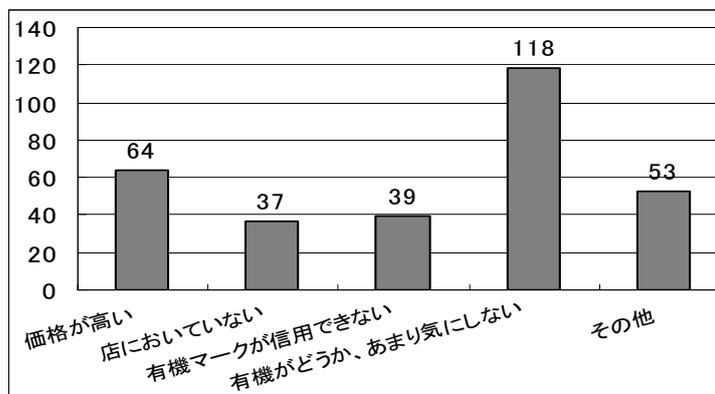


4. 有機農産物は、農薬・化学肥料を使わないという点で環境に配慮した商品です。農林水産省が認定した有機 JAS マークのある商品を購入するようにしていますか？

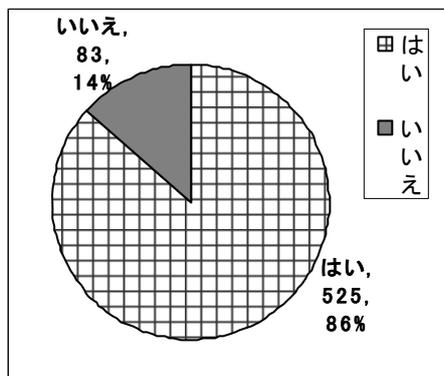


「いいえ」が51%を占め、唯一「はい」が29.7%で逆転した項目です。その中でも「あまり気にしない」が118人と圧倒的に多く、次に「価格が高い」が64人となっていました。有機農産物について消費者は、安全性と価格が高いという認識ですが、限られた農薬のみを使い化学肥料を用いていないという点では、環境に配慮した商品です。今後は有機農産物 JAS マークの普及には、安全性と環境についても消費者に知らせる必要があると思います。

「いいえ」の理由

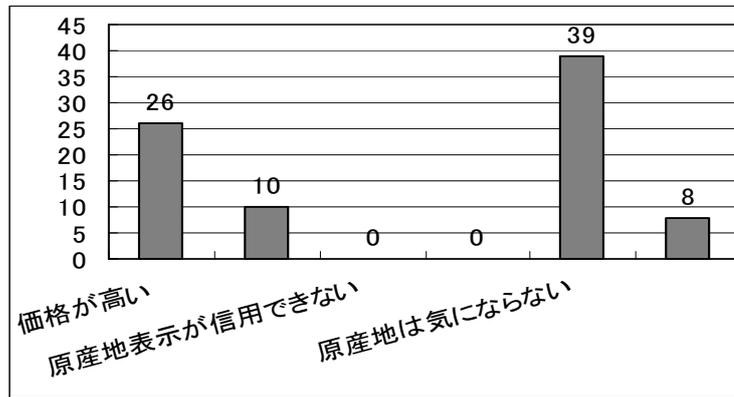


5. 国産の食品もまた、輸送エネルギーが少ないという点で、環境に配慮した商品です。国産の食品を購入するようにしていますか？



14%の人が「いいえ」を選んでいて、その理由として「原産地は気にならない」を39人の人が選んでいます。これは多国籍の食品が国内に流通していることが関係していると思われます。次に「価格が高い」と答えた人が26人いました。確かに国内産と輸入品を比較すると高いということが言えるかと思いますが、多くの人は国内産の食品を購入していることが伺えます。

「いいえ」の理由



みんなで環境を守り、住みやすい地球を保全しましょう！

<消費者ができること>

私たちが購入する「もの」や「サービス」は、すべて環境に何らかの負荷を与えていることを常に意識して、表示や情報に敏感になって正しい商品の選択ができる目を養いましょう。

<事業者に見るべきこと>

事業者は少しでも環境の負荷を減らせる生産物を製造・流通することと、消費者とのあらゆる場面でのコミュニケーションと情報の開示を望みます。

環境に配慮した消費生活の知恵

アンケートにお答えいただいた皆さんから、
様々な「環境に配慮した行動」が寄せられました。

ごみの減量、分別

もっとも多くの声を集めた項目です。大別して、以下のような工夫が提案されました。

- * 購入の時点で、ゴミが出るもの・不要なものを買わないよう心がける
- * リサイクル品を利用し、自らもリサイクルできるものはリサイクルにまわす
- * リユース瓶を利用する
- * 水筒を持ち歩き、ペットボトル飲料は買わない
- * 生ゴミは堆肥化する
- * 決まりに従ってきちんと分別する
- * 裏紙を利用する
- * 作った料理はすべて食べる

マイバッグの持参

これを実践している人も多くいました。

節電節水

多くの提案をいただきました。

- * エアコンの温度調節を考える、また、必要最低限に利用する

- * 使っていない電気製品の電源は落としておく、または、コンセントを抜いておく
- * 電灯はこまめに切る
- * オール電化と太陽光発電
- * スダレを活用し、自然の力で冷暖房し節電している
- * 環境家計簿でCO2削減を心がけている
- * 水を流しっぱなしにしない
- * 洗濯は風呂の残り湯で行う
- * 植木・花壇等への撒き水は、米のとぎ汁、風呂の残り湯を使う

食器洗いなどでの工夫

- * 食器の汚れは拭き取ってから洗う
- * 合成洗剤を使わない
- * 排水口に油を流さない

車の使い方

- * なるべく自転車や公共交通機関を利用する
- * アイドリングをしない
- * 古い車を大切に使う
- * 燃費のいい車を選ぶ

ほかにも様々なご意見をいただきました

- * 省エネをゲーム感覚で楽しみながら「もったいない」を視点に生活している
- * 掃除機を使わない、雑巾・モップによるナチュラルクリーニングを行っている
- * 不要の食用油は定められたところで回収してもらう
- * ゴミ減量推進委員などで、環境配慮行動を地域に呼びかけている

多くの方が、様々に心がけている「環境に配慮した行動」

自分の生活習慣に合わせて、無理をせず、ちょっとだけ努力して続けていくことが、環境を保全することに繋がります。

続けていきましょう「ちょっとECO生活」